

人権教育の「ツボ」

「ヘイトスピーチ解消法」のポイント

本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律

ヘイトスピーチって何？

一般的にデモやインターネット上で、特定の国の人々を、その出身であることを理由に一方的に追い出そうとしたり危害を加えようとする内容の言動のことをいいます。



(前文)

我が国においては、近年、本邦の域外にある国又は地域の出身であることを理由として、適法に居住するその出身者又はその子孫を、我が国の地域社会から排除することを煽(せん)動する不当な差別的言動が行われ、その出身者又はその子孫が多大な苦痛を強いられるとともに、当該地域社会に深刻な亀裂を生じさせている。

(中略)

ここに、このような不当な差別的言動は許されないことを宣言するとともに、更なる人権教育と人権啓発などを通じて、国民に周知を図り、その理解と協力を得つつ、不当な差別的言動の解消に向けた取組を推進すべく、この法律を制定する。

(目的) 第一条 (記載省略)

本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消が喫緊の課題であることが明記されています。

(定義) 第二条 (記載省略)

「本邦外出身者に対する不当な差別的言動」とは本邦外出身者を地域社会から排除することを煽動する不当な差別的言動と明記されています。

(基本理念) 第三条

国民は、本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消の必要性に対する理解を深めるとともに、本邦外出身者に対する不当な差別的言動のない社会の実現に寄与するよう努めなければならない。

(国及び地方公共団体の責務) 第四条 (記載省略)

国と地方公共団体が連例を図り、地域の実情に応じた施策を講ずるよう努めることとしています。

(教育の充実等) 第六条

2 地方公共団体は、国との適切な役割分担を踏まえて、当該地域の実情に応じ、本邦外出身者に対する不当な差別的言動を解消するための教育活動を実施するとともに、そのために必要な取組を行うよう努めるものとする。

(啓発の充実等) 第七条 (記載省略)

国民に周知し、その理解を深めることを目的とする広報その他の啓発活動を実施するとともに、そのために必要な取組を行うこととしています。

管内には、**外国人の人権**をテーマに実践を行っている学校があります。



行橋市立行橋南小学校は、異文化を正しく理解尊重する態度、異なる文化をもつ人々と共生しようとする態度を育てるために、各教科等と道徳の時間を関連させ、さらに体験活動を位置づけながら、実践を行いました。

行橋南小学校の詳しい取組の実際は、人権教育指導者向け学習資料「人権教育は今」(第29号)に掲載しています。今後もこのような取組を行っている学校の情報も発信していきます。



行橋南小学校体験活動の様子

人権教育の視点に立った授業づくり実践例～第4学年算数科「面積」より～ 「学習に参加しているという実感」を味わうことにつながる導入段階のポイント

人権が尊重されている授業の第一歩は、「学習に参加しているという実感」を味わわせることです。そのためには、授業の導入段階にポイントがあります。右のようなポイントを踏まえた授業の積み重ねが参加への実感につながります。

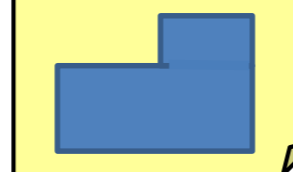


<導入段階でのポイント>

先生と子どもがやりとりをしながら

- ① 「なぜ」「どうして」という課題意識を
- ② 「何を」「どのように」という解決への見通しをもたせることができるように

【問題】面積を求めよう



<本実践例について>

左の図形は、長方形や正方形に分割することに気が付き、長方形や正方形の面積の公式を活用すれば、求積できることを理解させることをねらいとした実践です。



やりとりを聞いている 子どものつぶやき



今日も面積の勉強だな。うん、Aさんの言うとおりに、辺の長さが分かると公式が使えるね。私もわかるよ！

◇ ◇ ◇ 導入段階の教師と児童のやりとり ◇ ◇ ◇



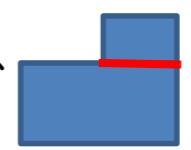
まずは、前の学習を振り返りましょう。(長方形を提示して)この長方形の面積は何cm²ですか。

縦の長さや横の長さが知りたいです。面積の公式を使いたいの。(縦と横の長さを知った後) 2×4=8で 8cm²です。

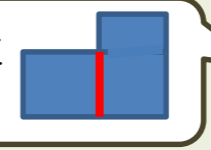


(上の図形を提示して)今日は、この図形の面積を求めます。面積の公式が使えるようにはないですね。困りましたね。

そのままの形では、公式は使えないけど、長方形や正方形の形をつくらうと思います。例えば、(図に赤線を入れながら)上と下の長方形に分けたら公式が使えて面積が求められると思います。



(赤線を図に示しながら)このやり方でも、左右に長方形ができるので公式が使えると思います。



では、面積を求める公式が使えるように、L字型の図形を長方形や正方形に分けて考えたら、面積が求められるのですね。

新しく作った長方形や正方形の縦と横の辺の長さが分からないと公式が使えないと思います。



今日は、L字型のような図形の面積を、公式が使えるようにいろいろ工夫して求めていきましょう。では、今日のめあてをみんなで作りましょう。キーワードは「面積の公式」「長方形や正方形」です。



学習に消極的な児童も、教師とやりとりをしたり、やりとりを聞いたりすることで、学習への参加意欲がもてます。

既習内容を振り返ることは、学習への安心感につながります。

えっ！こんな形、習ってないよ。できるかな。そもそも、面積の公式が使えるのかな。

「なぜ」「どうして」が思考をスタートさせ、学習へのやる気につながります。

なるほどね～。Bさんみたいに長方形や正方形に分けて考えればいいのか。

へえ～。Cさんのやり方でもできるんだな。

とにかく、長方形や正方形を作ればいいのか。

考えを出し合わせることは、みんなで学習するという雰囲気をつくれます。

確かに！Dさんの言うとおりに、縦と横の辺の長さが必要だ。できそうな気がしてきたよ！

「何を」「どのように」という見通しをもたせることが主体的な学びにつながります。

シリーズ「人権レクリエーション⑥」 最終回

～じゃんけんおに～

～じゃんけんおに～ 対象学年：全学年
時間：20～30分

○目的

このゲームは、仲間がいることについての安心感や仲間が増えることへの達成感を味わうことのできることのできるレクリエーションです。

○進め方

- ①参加者を3グループ(ゲー・チョコキ・パーの各グループ)に分けます。
- ②ゲーのグループは、帽子のつばを前向きにしてかぶり、手はゲーの形でゴリラのように胸をたたきながら移動します。
- ③チョコキのグループは、帽子のつばを横向きにしてかぶり、手はチョコキの形でカニのように横歩きで移動します。
- ④パーのグループは、帽子のつばを後向きにしてかぶり、手はパーの形で前に出し、ピョンピョン飛び跳ねながら移動します。
- ⑤ゲーのグループは、チョコキのグループを捕まえ(タッチ)ます。チョコキのグループは、パーのグループを捕まえ(タッチ)ます。パーのグループは、ゲーのグループを捕まえ(タッチ)します。
- ⑥捕まった人は、捕まえたグループのメンバーになります。
例えば、ゲーのグループに捕まったチョコキのグループの人は、ゲーのグループのメンバーとなるため、捕まったときに帽子のつばの向きを前向きにしてかぶり直し、チョコキのグループの者を捕まえます。
- ⑦10分したらゲーム終了となり、どのグループの人数が多いのかを確認します。

○振り返り

- ・仲間が少なくなっても1人じゃないグループに今の気持ちを聞く。
- ・仲間が増えたグループに今の気持ちを聞く。

これまで、全6回で「人権レクリエーション」についてお伝えしてきました。

大切な事は、これまでもお伝えしましたが、特に意識しておきたいのが、次の2点です。

- ・活動の目的を明確にしておく。
- ・気づかせたいことを意識して振り返りを行う。

これはどのような活動においても指導者が大切にしてほしい視点だと思います。

ぜひ、様々な活動においても、この点を意識しながら、子ども達の人権感覚を育成して頂きたいと思えます。

「人権コラム」

多文化社会共生の コンセプトは寛容性！

せかいのひとびと



現代社会では異なるものを排除する傾向があります。例えば、ハイトスピーチや性的少数者への偏見などがそれにあたります。<寛容>という言葉がありますが、どれだけ心を開いて違いを受け入れることができるかを意味します。フランスの子どもたちが学習に使っている絵本PEOPLE（日本では『せかいのひとびと』評論社）を紹介しながら、みなさんと一緒にこの人権の尊重と深く関わる「寛容性」について考えてみたいと思います。

地球上に住む私たち70億の人びとは、 みんなちがっている！

絵本はこのような内容で始まっています。「いま、この地球上にはたくさんの人びとが暮らしていて、人口はおよそ70億人と言われています。この人びとが手をつなぐと赤道を275周し、それは月までの距離の約28倍の長さになります。しかし、この70億人の中でもだれひとりとして同じ人はいません。私たちはみんな違って、それぞれがユニークな存在なのです。それぞれが独自のシルエットをもち、それぞれ異なった肌の色、目の形、瞳の色を持っています。私たちが身にまとう衣服も、毎日口にする食べ物も、住む家もそれぞれの国によってみんな異なっています」

絵本は、世界中の人びとはみんな違っており、『ひとりとして同じ人間はいない』ことをごく当り前のこととして受け止めることができれば、<皮膚の色が白いか>、<金持ちであるか>、<障がいをもっているか>などといったいくつかの限られた基準だけで、その人びとを「優れている」とか「劣っている」と評価をするのはおかしいことだと、子どもたちが気づくことを期待して作成されています。

みんなちがった存在だが、 同じ「思い」で生きている



世界中の人びとは、文化や考え方が違って、「ゲーム(遊び)が大好きなこと」、「お祭りを楽しむこと」、「文字や記号・身振りなどでお互いの意志を伝えあうこと(コミュニケーション)」、「故人のことを銅像・切手として、あるいは地名や橋・道路などにちなんだ名前を付けて(例：ケネディ空港)のぶこと」など、同じ「思い」で生きていることにも気づかされます。ぜひ、活用してみてください。

【参考】：人権問題に関する県民意識調査結果報告書概要版「コラム」より 平成29年3月 福岡県

あいのて

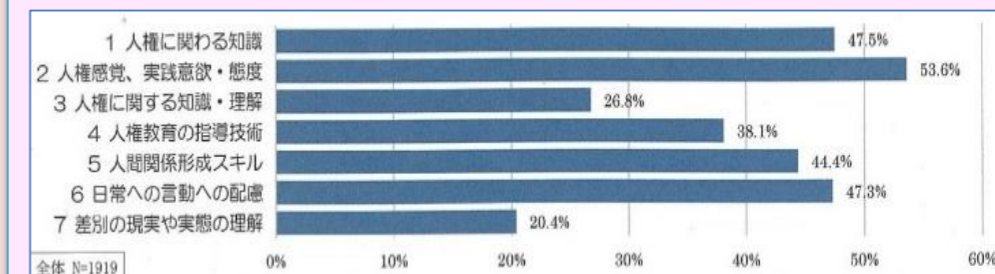
18号
平成30年3月6日

note...

発行 京築教育事務所人権・同和教育室

はじめに

「教職員の人権意識、人権教育に関する調査 結果報告書概要版(平成29年12月 福岡県教育委員会)」によると『あなたは児童生徒の人権教育に携わるに当たって、現在、あなた自身が特に身につけなければならないことは何ですか』という問いに対して以下のような結果がでました。



【教職員の人権意識、人権教育に関する調査 結果報告書概要版 P16より】

「人権感覚、実践意欲・態度(ステレオタイプや偏見を見きわめる感覚や人権の実現のために行動しようとする意欲・態度など)」や「人権に関する知識を深めること(人権発展の歴史や人権侵害の現状についてなど)」、「日常の言動への配慮」が多くなっています。

自由記述欄には、「このアンケートを通して知識不足を痛感した」や「これまでの研修は、私たちが知っていることを前提とした研修だった」という回答がみられました。年代別では、20歳代・30歳代の60%~70%が知識不足を自覚していることが分かりました。

このような先生方のニーズをふまえ、来年度も特別研修会を実施します。



「個別的人権課題」指導力アップ講座のお知らせ

- ◇講座Ⅰ：被差別部落の歴史についての理解(8/3午前)
- ◇講座Ⅱ：同和問題に関わる授業づくり(8/3午後)
- ◇講座Ⅲ：外国人の人権についての理解(8/7午前)
- ◇講座Ⅳ：性的マイノリティの人権についての理解(8/7午後)

詳細及び参加方法については5月に各学校に通知します。